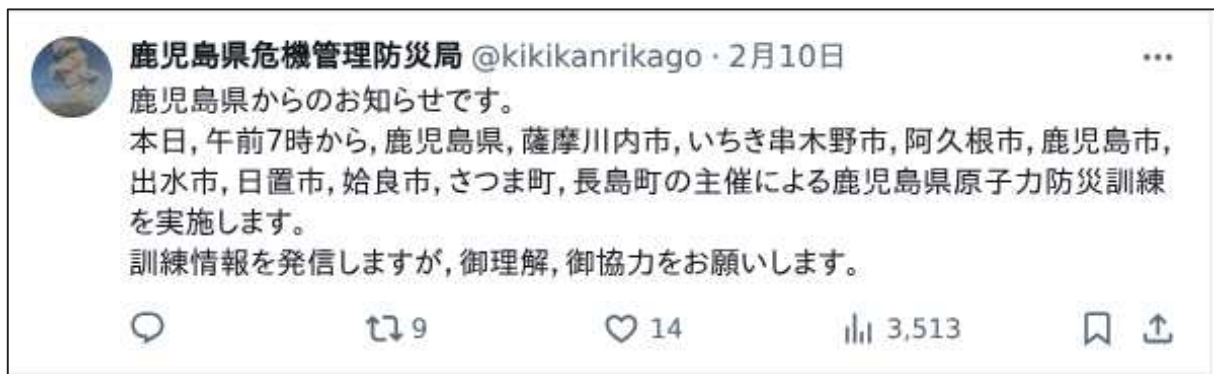


I-11-8 エックス（旧ツイッター）掲載資料





鹿児島県危機管理防災局 @kikikanrikago · 2月10日



これは訓練です。

本日午前7時、薩摩半島西方沖で最大震度7の地震が発生しました。川内原子力発電所で異常が発生しています。

なお、現在のところ、川内原発周辺に設置している測定局における環境放射線モニタリング結果に異常はありません。

詳細はこちら！

pref.kagoshima.jp
防災イベント
防災イベント:



↻ 4



9

📊 2,134



鹿児島県危機管理防災局 @kikikanrikago · 2月10日



[This is a drill]

Today at 7 AM, earthquake off W coast of Satsuma peninsula, max shindo 7 (M7.2). Problem occurred at Sendai Nuclear Power Station. No abnormal readings from radiation monitoring stations at this time. Details at

pref.kagoshima.jp
防災イベント
防災イベント:



↻ 1



📊 1,034





鹿児島県危機管理防災局 @kikikanrikago · 2月10日



これは訓練です。

川内原子力発電所で施設敷地緊急事態に該当する事象が発生しました。

この通報を受け, 国から屋内退避等の要請がありました。

詳細はこちら↓

The link card features the Kagoshima Prefecture logo on the left, which includes a stylized blue wave and the text '鹿児島県'. To the right of the logo, the text reads 'pref.kagoshima.jp', '防災イベント', and '防災イベント:'.



↻ 3

♡ 1

📊 1,348



鹿児島県危機管理防災局 @kikikanrikago · 2月10日



[This is a drill]

An incident at Sendai Nuclear Power Station has placed it under the Site Area Emergency stage of nuclear emergency. As a result, the national government has requested residents to shelter indoors, etc. Details at

The link card features the Kagoshima Prefecture logo on the left, which includes a stylized blue wave and the text '鹿児島県'. To the right of the logo, the text reads 'pref.kagoshima.jp', '防災イベント', and '防災イベント:'.



↻

♡ 1

📊 959





鹿児島県危機管理防災局 @kikikanrikago · 2月10日



これは訓練です。
川内原子力発電所で全面緊急事態に該当する事象が発生しました。
この通報を受け、国から屋内退避等の指示がありました。
詳細はこちら！

pref.kagoshima.jp
防災イベント
防災イベント:



1



1,182



鹿児島県危機管理防災局 @kikikanrikago · 2月10日



[This is a drill]
An incident at Sendai Nuclear Power Station has placed it under the
General Emergency stage of nuclear emergency. As a result, the
national government has ordered residents to shelter indoors, etc.
Details at

pref.kagoshima.jp
防災イベント
防災イベント:



1



887





鹿児島県危機管理防災局 @kikikanrikago · 2月10日



これは訓練です。

午前11時現在、薩摩川内市の野下地区、藤本地区、市比野地区、日置市の伊集院地域、東市来地域、日吉地域において、空間放射線量率が継続して毎時20マイクロシーベルトを超えている状態です。これは、OIL2に該当するため、国から指示がありました！



pref.kagoshima.jp

防災イベント

防災イベント:



↻ 3



4

📊 1,706



鹿児島県危機管理防災局 @kikikanrikago · 2月10日



[This is a drill]

As of 11AM, air radiation dose rate continues to exceed 20 μ Sv/h in 6 areas of Satsumasendai City and Hioki City. National government has ordered protective actions per Operation Intervention Level (OIL) 2. Details at



pref.kagoshima.jp

防災イベント

防災イベント:



↻ 1



1

📊 927





鹿児島県危機管理防災局 @kikikanrikago · 2月10日

...

これは訓練です。

本日、午前7時から実施していた鹿児島県原子力防災訓練は、午後6時に終了しました。

住民の皆様方の御理解・御協力に感謝いたします。



↻ 2

♡ 9

📊 1,686



鹿児島県危機管理防災局 @kikikanrikago · 2月10日

...

Announcement:

The Kagoshima Prefecture Nuclear Disaster Prevention Drill, which had been carried out since 7 AM this morning, was completed at 6 PM. Thank you very much for your understanding and cooperation.



↻ 1

♡

📊 1,238





訓練開始のお知らせ

2024年2月10日 6:30

2024年2月10日 6:30

令和6年2月10日 午前6時30分

本日、午前7時から、鹿児島県、薩摩川内市、いちき串木野市、阿久根市、鹿児島市、出水市、日置市、始良市、さつま町、長島町の主催による鹿児島県原子力防災訓練を実施します。

国の原子力災害対策指針等を踏まえ、県及び関係市町で策定した避難計画に基づき、地域住民の防災意識の向上や関係機関相互の連携強化を図るため、住民の皆様のご協力を得て、国、事業者等と連携して総合的な訓練を実施します。

訓練では、一部の地域で防災行政無線や広報車などを使って広報訓練を行います。訓練参加車両、訓練関係者が活動しますので、住民の皆様のご理解・御協力をお願いいたします。

※ 原子力防災アプリのインストール時は、全ての市町からの通知を受信する設定になっています。通知設定を変更する場合は、アプリの「ホーム＞設定＞通知設定」から通知を受信する市町を選択してください。詳しくは、アプリのヘルプp.63をご覧ください。

訓練の想定は次のとおりです。

本日午前7時00分、最大震度7の地震が発生し、川内原子力発電所1号機、2号機の原子炉が自動停止するとともに、すべての外部電源が喪失します。非常用電源からの給電により、原子炉の冷却は継続されますが、2号機では、1次冷却材の漏えいが発生します。その後、漏えい量が増加し、一部装置の故障により施設敷地緊急事態となり、続いて、非常用電源が故障し、すべての電源を喪失することにより、全面緊急事態となる想定です。

戻る



県災害対策本部等の設置

2024年2月10日 7:10

これは訓練です。

本日午前7時、薩摩半島西方沖を震源とする最大震度7の地震が発生しました。川内原子力発電所1、2号機は原子炉が自動停止し、外部電源が喪失しました。

2号機については、地震発生と同時に原子炉冷却材の漏えいが発生しました。

現在、1、2号機ともに、非常用ディーゼル発電機から交流動力電源を供給し、蒸気発生器への給水により原子炉の冷却が行われています。

なお、現在のところ、川内原発周辺に設置している測定局における環境放射線モニタリング結果に異常はありません。

午前7時、県では、災害対策本部を設置するとともに、薩摩川内市のオフサイトセンターに現地災害対策本部を設置しました。また、薩摩川内市、いちき串木野市、阿久根市、鹿児島市、出水市、日置市、始良市、さつま町、長島町についても同時刻にそれぞれ災害対策本部を設置しました。

戻る



警戒事態発生

2024年2月10日 7:30

これは訓練です。

川内原子力発電所2号機において原子力災害対策指針に定める警戒事態に該当する原子力施設の重要な故障等が発生したことから、本日、午前7時30分、国から次のとおり要請がありました。

(要請の内容)

① 川内原子力発電所のPAZの住民のうち施設敷地緊急事態要避難者(注)は、避難準備を始めること。ただし、避難の実施により健康リスクが高まる要配慮者は屋内退避の準備を始めること。

② 川内原子力発電所のPAZの住民であって施設敷地緊急事態要避難者(注)に対する安定ヨウ素剤の配布準備を始めること。

③ 鹿児島県は、原子力規制委員会による緊急時モニタリングセンターの立ち上げの準備に協力するとともに、緊急時モニタリングの準備を始めること。

④ 川内原子力発電所のPAZ及びUPZの住民、一時滞在者その他公私の団体等は、防災行政無線、ラジオ、テレビ等による情報に注意すること。

なお、現在のところ、川内原発周辺に設置している測定局における環境放射線モニタリング結果に異常はありません。

今後も随時情報をお知らせしますので、防災行政無線、ラジオ、テレビ、エリアメール、原子力防災アプリ等からの情報に十分注意しながら、お住まいの市や町の指示に従い、落ち着いて行動してください。

(注) 施設敷地緊急事態要避難者

「施設敷地緊急事態要避難者」とは、PAZ内の住民等であって、施設敷地緊急事態の段階で避難等の予防的防護措置を実施すべき者として次に掲げる者をいう。

イ 要配慮者(災害対策基本法(昭和36年法律第223号)第8条第2項第15号に規定する要配慮者をいう。以下同じ。)(口又はハに該当する者を除く。)のうち、避難の実施に通常以上の時間がかかるもの

ロ 妊婦、授乳婦、乳幼児及び乳幼児とともに避難する必要のある者

ハ 安定ヨウ素剤を服用できないと医師が判断した者

(参考)

PAZ: 原子力発電所を中心としておおむね5km圏内

薩摩川内市の一部

UPZ: 原子力発電所を中心としておおむね5～30km圏内

薩摩川内市の一部(PAZを除く)、いちき串木野市の全域、阿久根市の全域、鹿児島市の一部、出水市の一部、日置市の一部、始良市の一部、さつま町の一部、長島町の一部

戻る



施設敷地緊急事態発生

2024年2月10日 8:36

これは訓練です。

九州電力柳川内原子力発電所から「午前8時35分、川内原子力発電所2号機は1次冷却材の漏えいが拡大し、非常用炉心冷却装置（ECCS）が作動するものの、充てん高圧注水ポンプの故障が発生した。」との通報がありました。

これは、原子力災害対策特別措置法第10条に該当する事象であり、また、原子力災害対策指針に定める施設敷地緊急事態に該当する事象です。

このことを受け、本県及び関係自治体に対し、本日、午前8時35分、国から次のとおり要請がありました。

① P A Zの施設敷地緊急事態要避難者は、安全な避難が可能となるまでの間は屋内退避すること。安全が確認され、避難手段の準備が整った段階で、安定ヨウ素剤の配布を受け避難すること。ただし、避難の実施により健康リスクが高まる要配慮者は、引き続き放射線防護対策施設において屋内退避を実施すること。

② 屋内退避にあたっては、地震による家屋の倒壊等により自宅での屋内退避の実施が困難な場合は、地震による影響がない安全な近隣の指定避難所等において屋内退避等を実施すること。

③ P A Zの一時滞在者は、避難経路が確保されるまでの間は屋内退避し、安全が確認され避難手段の準備が整った段階で、安定ヨウ素剤の配布を受け帰宅すること。

④ P A Zの住民（施設敷地緊急事態要避難者を除く）は、避難準備を実施すること。

⑤ P A Zの住民（施設敷地緊急事態要避難者を除く）に対する安定ヨウ素剤の配布準備を始めること。

⑥ U P Zの住民は、屋内退避の準備を始めること。当該地域の一時滞在者であって自家用車で帰宅できる者は、安全な避難が可能となった段階で帰宅すること。

⑦ P A Z及びU P Zの住民等は、防災行政無線、ラジオ、テレビ等による情報に注意すること。

なお、現在のところ、川内原発周辺に設置している測定局における環境放射線モニタリング結果に異常はありません。

今後も随時情報をお知らせしますので、防災行政無線、ラジオ、テレビ、エリアメール、原子力防災アプリ等からの情報に十分注意しながら、お住まいの市や町の指示に従い、落ち着いて行動してください。

戻る



全面緊急事態発生

2024年2月10日 10:10

これは訓練です。

川内原子力発電所2号機は、午前10時、非常用ディーゼル発電機が故障したことにより、全交流動力電源が喪失し、非常用炉心冷却装置（ECCS）による注入が不能となりました。

全面緊急事態に至ったことから、午前10時10分、内閣総理大臣から「原子力緊急事態宣言」が出されました。

併せて、防護措置に係る指示がありました。

指示の内容は以下のとおりです。

① P A Zの住民及び一時滞り者は、安全な避難が可能となるまでの間は屋内退避すること。その後、安全が確認され、避難の準備が整った段階で、安定ヨウ素剤の配布を受け服用し、避難すること。また、避難の実施により健康リスクが高まる要配慮者は、引き続き放射線防護対策施設において屋内退避を実施すること。

② U P Zの住民及び一時滞り者は、屋内退避を実施すること。

③ 屋内退避にあたっては、地震による家屋の倒壊等により自宅での屋内退避の実施が困難な場合は、地震による影響がない安全な近隣の指定避難所等において屋内退避等を実施すること。

④ P A Z及びU P Zの住民、一時滞り者等は、防災行政無線、ラジオ、テレビ等による情報に注意すること。

今後も随時情報をお知らせしますので、お住まいの市や町の指示に従い、落ち着いて行動してください。

戻る



一時移転開始

2024年2月10日 11:40

これは訓練です。

緊急時モニタリングの結果、午前11時現在、薩摩川内市野下地区などにおいて、継続して毎時20マイクロシーベルトを超えている状況です。

これは、1日以内に区域を特定し、1週間程度内に一時移転を実施する必要がある

「O I L 2」に該当するため、国から以下のとおり指示がありました。

① U P Zのうち、鹿児島県薩摩川内市野下地区、藤原地区及び市比野地区、日置市伊集院地域、東市来地域及び日吉地域の住民は、一時移転の手段が整い安全な一時移転が可能となった段階で、安定ヨウ素剤の配布を受け、一週間程度内に一時移転をすること。また、一時移転に際しては、避難退域時検査を受けること。

② 上記①の地区の地域生産物の摂取を控えること。

③ P A Z及びU P Zの住民、一時滞り者その他公私の団体等は、防災行政無線、ラジオ、テレビ等による情報に注意すること。

また、以下の指示は継続中です。

④ P A Zの住民及び一時滞り者は、安全な避難が可能となるまでの間は屋内退避すること。その後、安全が確認され、避難の準備が整った段階で、安定ヨウ素剤の配布を受け服用し、避難すること。また、避難の実施により健康リスクが高まる要配慮者は、引き続き放射線防護対策施設において屋内退避を実施すること。

⑤ U P Zの住民及び一時滞り者は、屋内退避を実施すること。

⑥ 屋内退避にあたっては、地震による家屋の倒壊等により自宅での屋内退避の実施が困難な場合は、地震による影響がない安全な近隣の指定避難所等において屋内退避等を実施すること。

⑦ P A Z及びU P Zの住民、一時滞り者等は、防災行政無線、ラジオ、テレビ等による情報に注意すること。

一時移転にあたっては、お住まいの市の指示に従い、落ち着いて行動してください。今後も随時情報をお知らせしますので、防災行政無線、ラジオ、テレビ、エリアメール、原子力防災アプリ等からの情報に十分注意しながら、落ち着いて行動してください。

戻る

避難退域時検査場所及び安定ヨウ素剤の緊急配布場所のお知らせ

2024年2月10日 12:10

これは訓練です。

一時移転にあたって、避難退域時検査場所及び安定ヨウ素剤の緊急配布場所についてお知らせします。

1. 避難退域時検査場所及び安定ヨウ素剤の緊急配布場所
・日置市吹上中央公民館

今後も随時情報をお知らせしますので、防災行政無線、ラジオ、テレビ、エリアメール、原子力防災アプリ等からの情報に十分注意しながら、お住まいの市や町の指示に従い、落ち着いて行動してください。

戻る

訓練終了のお知らせ

2024年2月10日 18:19

これは訓練です。

本日、午前7時から実施していた鹿児島県原子力防災訓練は、午後6時に終了しました。住民の皆様方の御理解・御協力に感謝いたします。

戻る

鹿児島県からの お知らせ

2月10日(土)に 原子力防災訓練を実施します。



主催

鹿児島県、薩摩川内市、いちき串木野市、阿久根市、鹿児島市、出水市、日置市、始良市、さつま町、長島町

目的

- 国の原子力災害対策指針等を踏まえ、県、関係市町で策定した避難計画に基づき、地域住民の防災意識の向上や関係機関相互の連携強化を図るため、国、事業者等と連携して総合的な訓練を実施します。
- 訓練での教訓を踏まえて、避難計画の見直しを行うなど、原子力防災対策の充実・強化を図ります。

特徴

- PAZ（原発から概ね5km圏内）内住民の避難訓練と、UPZ（原発から概ね5～30km圏内）内住民の避難訓練に分かれています。
 - ・訓練では事故の進展に要する時間を短縮し、1日で実施することとしています。
 - ・8時35分からPAZ内住民の訓練、10時10分からUPZ内住民の訓練を行います。
 - ・全体訓練では、UPZにおいては薩摩川内市、日置市の一部地域の空間放射線量率が高くなったという想定で避難します。
 - ・地域別の訓練では、各市町において通信連絡訓練や避難、避難誘導訓練等を行います。
- 原子力防災アプリを活用した広報や避難訓練を実施します。

実施日時

令和6年2月10日(土) 午前7時～午後6時

主な訓練



- 県及び関係市町の災害対策本部の設置
- オフサイトセンターの立ち上げ・運営
- 異常事象等の通報、関係機関間の通信連絡
- 緊急時モニタリングの実施、測定結果の収集及び評価
- 避難退域時検査の実施、安定ヨウ素剤の配布・服用指示
- 防災行政無線や広報車、原子力防災アプリ等による情報伝達
- 関係機関との連携による住民等の避難、避難誘導、家屋倒壊等を想定した避難所等での屋内退避
- 一時集合場所等での受付、避難退域時検査での通行証の発行 など

お願い

当日は、一部の地域で防災行政無線や広報車などを使って広報訓練を行います。訓練参加車両、訓練関係者が活動しますので御理解・御協力をお願いします。

薩摩川内市及びいちき串木野市では、緊急速報メールでお知らせも行います。携帯電話をお持ちで緊急速報メールを受信する環境にある方、また、原子力防災アプリをお持ちの方は、訓練に伴う通知が配信されますので、あらかじめ御理解ください。



お問い合わせ先

鹿児島県	原子力安全対策課	電話：099-286-2378	出水市	くらし安心課	電話：0996-63-2111
薩摩川内市	防災安全課	電話：0996-23-5111	日置市	総務課	電話：099-273-2111
いちき串木野市	まちづくり防災課	電話：0996-32-3111	始良市	危機管理課	電話：0995-66-3111
阿久根市	総務課	電話：0996-73-1211	さつま町	総務課	電話：0996-53-1111
鹿児島市	危機管理課	電話：099-224-1111	長島町	総務課	電話：0996-86-1111

今年度の原子力防災訓練では、 「鹿児島県原子力防災アプリ」を活用します！

1 「鹿児島県原子力防災アプリ」とは

▶令和4年度から運用を開始したアプリで、原子力災害時における避難情報などを閲覧することができます。



▶QRコードを活用して、避難所などでの手続きを円滑に実施することができます。



2 「鹿児島県原子力防災アプリ」でどんなことができるの？

▶自治体からの避難に関するお知らせを受信



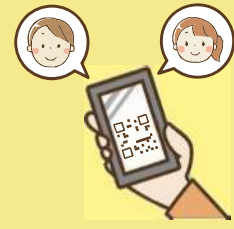
▶最寄りのモニタリングポストの空間放射線量を



▶現在地からの避難経路を検索



▶QRコードを使った素早い受付登録



3 原子力防災訓練に向けて...

① 「原子力防災アプリ」のインストールをお願いします。

▶以下のQRコードをスキャンしていただくか、アプリストアで「鹿児島県原子力防災アプリ」で検索してください。スマートフォンをお持ちでない方には、受付時にQRコードが掲載された紙を配布します。

訓練当日においても、その紙を使って受付登録を行っていただけます。



Android の方はこちら



iPhone の方はこちら



② 氏名や住所などの情報登録をお願いします。

詳しくは...

鹿児島県のホームページに、「原子力防災アプリ」の操作マニュアルを掲載しています。「鹿児島県原子力防災アプリ」で検索してご確認ください。



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

Notice from Kagoshima Prefecture Nuclear Emergency Response Drills will be Executed on February 10 (Saturday)



Sponsors

Kagoshima Prefecture, Satsumasendai City, Ichikikushikino City, Akune City, Kagoshima City, Izumi City, Hioki City, Aira City, Satsuma Town, and Nagashima Town

Purpose

○ In accordance with the National Nuclear Emergency Response Guidelines and evacuation plans formulated by Kagoshima Prefecture and the relevant municipalities, we will be conducting comprehensive drills in collaboration with the national government and business operators for the purpose of raising awareness of disaster preparedness among local residents and strengthening cooperation among the relevant organizations.
○ We will further improve and strengthen the nuclear emergency response measures by reviewing the evacuation plan based on the lessons learned from the drills.

Features

○ Evacuation drills for the residents in PAZ (within a radius of approx. 5 km from the nuclear power station) and UPZ (within a radius of approx. 10 km from the nuclear power station) will be conducted on the day of the drills.
○ Drills that include evacuation exercises will be carried out on the day of the drills.
○ In general drills, evacuation exercises will be conducted at 8:35 a.m. and 10:10 a.m. for PAZ residents and UPZ residents, respectively.
○ In drills for individual areas, contact and communication drills, evacuation drills, and evacuation guidance drills will be conducted in each municipality.
○ Public announcement exercises and evacuation drills using the nuclear emergency response app will be carried out.

Date and Time

February 10, 2024 (Saturday) 7 a.m. to 6 p.m.

Main Drills

- Establish emergency response HQs for the prefecture and municipalities
- Set up and operate an off-site center
- Report abnormal events, conduct communications between relevant organizations
- Implement emergency monitoring, collect and assess the measurement results
- Implement evacuation screening, distribute stable iodine tablets, provide dosing instructions for the tablet
- Dissemination of information using the government disaster prevention radio system, public announcement cars, and the nuclear emergency response app
- Evacuation of and evacuation guidance to the residents in coordination with the relevant organizations, sheltering at evacuation shelters on the assumption of house collapse
- Reception at temporary assembly sites and issue or passes at time of evacuation screening



Request

On the day of the drills, a public announcement exercise will be carried out using the government disaster prevention radio system or public announcement cars; therefore, training officials and participating vehicles will operate. We appreciate your understanding and cooperation.
Satsumasendai City and Ichikikushikino City notifications will also be issued via emergency warning emails.
If you have a mobile phone that is configured to receive emergency warning emails or installed with the nuclear emergency response app, please note that test notifications will be sent to your phone as part of the drills.



Inquiries

Kagoshima Prefecture Nuclear Safety Affairs Division
Tel: 0996-23-5111
Satsumasendai City Disaster Prevention and Safety Division
Tel: 0996-32-3111
Ichikikushikino City Urban Policy and Disaster Prevention Division
Tel: 0996-73-1211
Akune City General Affairs Division
Tel: 099-224-1111
Kagoshima City Crisis Management Division
Tel: 0996-63-2111
Izumi City Safety and Security Promotion Division
Tel: 099-273-2111
Hioki City General Affairs Division
Tel: 0995-66-3111
Aira City Crisis Management Division
Tel: 0996-53-1111
Satsuma Town General Affairs Division
Nagashima Town General Affairs Division
Tel: 0996-86-1111

The Kagoshima Prefecture Nuclear Emergency Response App will be used in this fiscal year's Nuclear Emergency Response Drills!

1 What is the Kagoshima Prefecture Nuclear Emergency Response App?

▶ Launched in April 2022, this app allows you to view information about evacuation and other responses in the event of a nuclear emergency.



▶ The app allows you to carry out procedures at evacuation shelters smoothly using a QR code.



2 How can you use the Kagoshima Prefecture Nuclear Emergency Response App?

▶ Receive notifications regarding evacuations from your municipal office.

▶ Check spatial radiation dose amounts measured at the monitoring post closest to you.

▶ Search for evacuation routes from your current location.

▶ Check in and register quickly using the QR code.

3 In preparation for the Nuclear Emergency Response Drills ...

① Please install the Nuclear Emergency Response App.

▶ Either scan the QR code below or search for the Kagoshima Prefecture Nuclear Emergency Response App in the app store. If you do not have a smartphone, you will be handed a sheet of paper printed with the QR code when you check-in at reception.
On the day of the drills, you will also use this sheet of paper for reception and registration procedures.



Android users, please tap here.



iPhone users, please tap here.



英語版

② Please register your name, address, and other required information.

鹿儿岛县通知 2月10日(周六) 实施核能防灾训练。



- 主办**
鹿儿岛县、萨摩川内市、市来串木野市、阿久根市、鹿儿岛市、出水市、日置市、始良市、萨摩町、长岛町
- 目的**
○在日本核能灾害对策指南等的基础上，根据县、相关市町确定的避难计划，为提高地区居民的防灾意识，加强相关机构之间的相互合作，与国家、企业等联合实施综合训练。
○从训练中吸取经验教训，调整避难计划等，充实和强化核能防灾对策。
- 特点**
○训练分为PAZ（距离核电站约5km范围内）内居民的避难训练和UPZ（距离核电站约5~30km范围内）内居民的避难训练。
• 训练阿诺短事故进展所需时间，在一天内实施。
• 8点35分起进行PAZ内居民的训练，10点10分起进行UPZ内居民的训练。
• 全体训练中，UPZ实施萨摩川内市、日置市部分地区空间辐射剂量率升高的模拟避难。
• 各地区训练中，各市町进行通信联络训练、避难及避难指导训练等。
○利用核能防灾应用程序进行宣传及避难训练。

实施时间
2024年2月10日(周六) 早上7点~下午6点

- 主办**
○县及相关市町灾害对策本部的设置
○场外中心的启动与运营
○异常情况等的通报、相关机构之间的通信联络
○应急演练的实施、测定结果的收集及评价
○避难演练时实施检查，发放稳定性裁判员指示册用
○通过防灾行政无线广播、宣传车和核能防灾应用程序等发布信息
○与相关机构合作，进行居民等人员的避难、避难疏导、设想房屋倒塌后去避难所等的室内躲避



配合要求
当天，部分地区将通过防灾行政无线广播、宣传车等进行宣传训练。届时，将参加训练车辆和训练相关人员参加训练，敬请理解配合。
在萨摩川内市以及市来串木野市，还将采用紧急通报电子邮件的方式发布通知。因发布训练相关的通知，持有手机，可接收紧急通报电子邮件区域内的用户，或拥有核能防灾应用程序的用户敬请知悉。

联系方式

鹿儿岛县	电话：099 286 2378
萨摩川内市	电话：0996 23 5111
市来串木野市	电话：0996 32 3111
阿久根市	电话：0996 73 1211
始良市	电话：099 224 1111
萨摩町	电话：0996 63 2111
长岛町	电话：099 273 2111
出水市	电话：0995 66 3111
日置市	电话：0996 53 1111
伊佐市	电话：0996 86 1111

本年度的核能防灾训练， 使用“鹿儿岛县核能防灾应用程序”！

1. 什么是“鹿儿岛县核能防灾应用程序”

- ▶ 是从2022年度开始使用的应用程序，可以阅览核能灾害时的避难信息等。
- ▶ 使用二维码，可以在避难所等地办理手续。



2. 利用“鹿儿岛县核能防灾应用程序”可以做些什么？

- ▶ 接收来自自治体的避难通知
- ▶ 确认最近的空间辐射剂量
- ▶ 搜索当前位置的避难路径
- ▶ 使用二维码快速受理登记

3. 为了进行核能防灾训练...

- ① 请安装“核能防灾应用程序”。
▶ 请扫描以下二维码，或者在应用商店搜索“鹿儿岛县核能防灾应用程序”。对于没有智能手机的人，在受理时会分发印有二维码的纸张，也可以在训练当天，使用该纸张进行受理登记。



② 请登记姓名和地址等信息。



中国語版

가고시마현의 공지사항

2월10일(토)에 원자력방재훈련을 실시합니다.



주최

가고시마현, 사쓰마센타이시, 이치키쿠시노시, 아쿠네시, 가고시마시, 이즈미시, 히요카시, 아이라시, 사쓰마정, 나가사키정

목적

- 정부의 원자력재해대책절 등을 바탕으로 현, 관계 기초자치단체에서 수립한대피계획에 의거해 지역 주민의 방재의식을 제고하고 관계기관 상호 간의 연계를 강화하고자 정부, 시립자 등과 연계해 종합적인 훈련을 실시합니다.
- 훈련을 통해 얻은 교훈을 바탕으로 대피계획을 재검토하는 등 원자력방재대책을 내실화, 강화합니다.

특징

- PAZ(원자력발전소에서 약 5km 권내) 내 주민 대피훈련과 UPZ(원자력발전소에서 약 5~30km 권내) 내 주민 대피훈련으로 나뉩니다.
- 훈련은 사고 진행에 소요되는 시간을 단축해 하루 동안 실시됩니다.
- 8 시 35 분부터 PAZ 내의 주민 훈련, 10 시 10 분부터 UPZ 내의 주민 훈련을 실시합니다.
- 전체 훈련에서 UPZ는 사쓰마센타이시, 히요카시 중 일부 지역 지역의 공간방사선량률이 높아졌다가 정황에 대피합니다.
- 지역별 훈련에서는 각 기초자치단체에서 통신연락훈련 및 대피, 대피유도훈련 등을 실시합니다.
- 원자력방재 앱을 활용한 홍보 및 대피훈련을 실시합니다.

실시 일시

2024년 2월 10일(토) 오전 7시~오후 6시

주요 훈련

- 재해대책본부 등 설치·운영훈련
- 오프사이트센터 집결·운영훈련
- 비상시 통신연락훈련
- 비상시 모니터링훈련
- 타지역 대피 시 검사, 원자력재해의료조사훈련
- 주민 등에 대한 홍보훈련
- 대피 및 대피유도, 실내대피훈련



당부 말씀

훈련 당일에는 일부 지역에서 방재행정부, 홍보자랑 등을 사용해 홍보훈련을 실시하며, 훈련 참가 차량, 훈련 관계자가 활동합니다. 여러분의 많은 이해와 협조바랍니다. 사쓰마센타이시 및 이치키쿠시노시에서는 긴급속보 이메일로 공지사항도 보냅니다. 긴급속보 이메일을 수신할 수 있는 환경의 휴대전화를 소지하신 분과 위치력방재 앱을설치하신 분께는 훈련에 따른 알림 메시지가 전송됩니다. 이 점, 미리 당해 바랍니다.

문의처

- | | | |
|---------|----------|-------------------|
| 가고시마현 | 원자력안전대책과 | 전화: 099-286-2378 |
| 사쓰마센타이시 | 재난진압과 | 전화: 0996-233-5111 |
| 이치키쿠시노시 | 도시경비방재과 | 전화: 0996-323-3111 |
| 아쿠네시 | 총무관리과 | 전화: 0996-733-1211 |
| 이즈미시 | 기획관리과 | 전화: 0996-224-1111 |
| 히요카시 | 안전추진과 | 전화: 0996-633-2111 |
| 아사쓰마시 | 총무관리과 | 전화: 0995-273-2111 |
| 나가사키시 | 총무관리과 | 전화: 0995-666-3111 |
| | 총무관리과 | 전화: 0996-533-1111 |
| | 총무관리과 | 전화: 0996-866-1111 |

금년도 원자력방재훈련에서는 ‘가고시마현 원자력방재 앱’을 활용합니다!

1. ‘가고시마현 원자력방재 앱’이란

▶ 2022년도부터 운용하기 시작한 앱이며, 원자력방재 발생 시 대피 정보 등을 열람할 수 있습니다.

▶ QR 코드를 활용해 대피소 등에서 필요한 절차를 원활하게 실시할 수 있습니다.



2. ‘가고시마현 원자력방재 앱’으로 무엇을 할 수 있나요?

▶ 지자체의 대피 관련 공지사항 수신

▶ 가까운 모니터링 포스트의 공간방사선량 확인

▶ 현재 위치에서 대피 경로 검색

▶ QR 코드를 이용한 빠른 접수 등록

3. 원자력방재훈련을 위한 준비

① ‘원자력방재 앱’을 설치해 주십시오.

- ▶ 아래의 QR 코드를 스캔하거나 앱 스토어에서 ‘鹿児島県原子力防災アプリ (가고시마현 원자력방재 앱)’으로 검색해 주십시오. 스마트폰이 없는 분께는 접수할 때 QR 코드가 게재된 종이를 드립니다.
- ▶훈련 당일에도 그 종이를 사용해 접수 등록하실 수 있습니다.



Android를 사용하는 경우

iPhone을 사용하는 경우



② 성명, 주소 등의 정보를 등록해 주십시오.

Thông báo từ tỉnh Kagoshima

Vào thứ Bảy ngày 10 tháng 2, chúng tôi sẽ tổ chức huấn luyện phòng chống thảm họa năng lượng hạt nhân.

Tổ chức:

Tỉnh Kagoshima, thành phố Satsuma Sendai, thành phố Ichikikushikino, thành phố Akune, thành phố Kagoshima, thành phố Izumi, thành phố Hioki, thành phố Aira, thị trấn Satsuma, thị trấn Nagashima

Mục đích:

- Chúng tôi liên kết với chính phủ, các tổ chức kinh doanh v.v. để tổ chức huấn luyện tổng hợp nhằm hướng đến nâng cao ý thức phòng chống thảm họa của người dân trong khu vực, tăng cường liên kết làm nhau giữa các cơ quan có liên quan, dựa trên kế hoạch lãnh nạn đã được tỉnh và các thành phố, thị trấn khu vực có liên quan hoạch định dựa trên phương châm đối sách phòng chống thảm họa năng lượng hạt nhân của chính phủ.
- Hướng đến thực hiện đầy đủ và tăng cường đối sách phòng chống thảm họa năng lượng hạt nhân như tiến hành xem xét lại kế hoạch lãnh nạn v.v. dựa trên bài học huấn luyện v.v.

Đặc trưng:

- Được huấn luyện được chia thành huấn luyện lãnh nạn cho người dân trong PAZ (trong khu vực cách khoảng 5km từ lò hạt nhân) và huấn luyện lãnh nạn cho người dân trong UPZ (trong khu vực cách khoảng 5~30km từ lò hạt nhân).
- Huấn luyện sẽ rút ngắn thời gian cần thiết dẫn đến tai nạn, thực hiện trong 1 ngày.
- Tiến hành huấn luyện cho người dân trong PAZ từ 8.35 và huấn luyện cho người dân trong UPZ từ 10.10.
- Trong huấn luyện toàn thể, sẽ lãnh nạn theo giả định là tỷ lệ lượng phóng xạ trong không gian của UPZ là thành phố Satsuma Sendai, một số khu vực của thành phố Hioki trở nên cao lên.
- Trong huấn luyện theo khu vực thì tiến hành huấn luyện liên lạc viên thông và huấn luyện lãnh nạn, hướng dẫn lãnh nạn v.v. ở từng thành phố thị trấn.
- Tiến hành huấn luyện thông báo và lãnh nạn bằng cách sử dụng hiệu quả ứng dụng phòng chống thảm họa năng lượng hạt nhân.

Ngày giờ thực hiện:

Ngày 10 tháng 2 năm 2024 (Thứ bảy) 7 giờ sáng đến 6 giờ chiều

Nội dung huấn luyện chính:



- Thiết lập tru sở đối sách phòng chống thảm họa của tỉnh và các thành phố thị trấn có liên quan
- Tổ chức, vận hành trung tâm biên ngoại
- Thông báo liên lạc tương bất thường v.v., liên lạc viên thông giữa các cơ quan có liên quan
- Thực hiện theo dõi khi khẩn cấp, thu thập và đánh giá kết quả đo lường
- Thực hiện xét nghiệm khi rời khỏi khu vực để đi lãnh nạn, phân phát và chỉ thị uống chất tr-ốt ổn định
- Truyền đạt thông tin bằng vô tuyến hành chính phòng chống thảm họa, xe thông báo, ứng dụng phòng chống thảm họa năng lượng hạt nhân v.v.
- Lãnh nạn, hướng dẫn lãnh nạn cho người dân qua sự liên kết với các cơ quan có liên quan, lãnh nạn trong nhà ở nơi lãnh nạn giả định là nhà bị sập đổ v.v.
- Tiếp nhận tại các điểm tập trung tạm thời v.v., cấp thẻ thông hành để xét nghiệm khi rời khỏi khu vực để đi lãnh nạn v.v.

Đề nghị

Chúng tôi sẽ tổ chức huấn luyện thông báo bằng cách sử dụng vô tuyến hành chính phòng chống thảm họa và xe thông báo v.v. ở một số khu vực vào trong huấn luyện. Rất mong quý vị thông cảm và hợp tác khi có xe tham gia huấn luyện và người có liên quan đến huấn luyện đồng ý.

Tại thành phố Satsuma Sendai, thành phố Ichikikushikino, chúng tôi cũng sẽ tiến hành thông báo qua mail cảnh báo khẩn cấp.

Quý vị có điện thoại di động và trong môi trường nhận mail cảnh báo khẩn cấp, hoặc quý vị có ứng dụng phòng chống thảm họa năng lượng hạt nhân thì sẽ được gửi thông báo di kên của Chương trình huấn luyện, rất mong quý vị thông cảm.

Địa chỉ liên hệ:

Tỉnh Kagoshima
 Thành phố Satsuma Sendai
 Thành phố Ichikikushikino
 Thành phố Akune
 Thành phố Kagoshima
 Thành phố Izumi
 Thành phố Hioki
 Thành phố Aira
 Thị trấn Satsuma
 Thị trấn Nagashima

Phòng Đối sách An toàn Năng lượng Hạt nhân
 Phòng An toàn Phòng chống Thảm họa
 Phòng Phòng chống Thảm họa Xây dựng Đô thị
 Phòng Tổng vụ
 Phòng Quản lý Khủng hoảng
 Phòng An-tam Bồi-sống
 Phòng Tổng vụ
 Phòng Quản lý Khủng hoảng
 Phòng Tổng vụ
 Phòng Tổng vụ

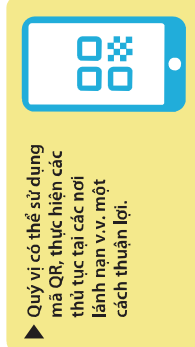
ĐT: 090 - 286 - 2378
 ĐT: 0996 - 23 - 5111
 ĐT: 0996 - 52 - 3111
 ĐT: 0996 - 73 - 1211
 ĐT: 099 - 224 - 1111
 ĐT: 0996 - 63 - 2111
 ĐT: 099 - 273 - 2111
 ĐT: 0995 - 66 - 3111
 ĐT: 0996 - 53 - 1111
 ĐT: 0996 - 86 - 1111

Trong đợt huấn luyện phòng chống thảm họa hạt nhân năm nay, chúng tôi sẽ sử dụng "Ứng dụng phòng chống thảm họa năng lượng hạt nhân tỉnh Kagoshima"!

1 "Ứng dụng phòng chống thảm họa năng lượng hạt nhân tỉnh Kagoshima" là gì?



▶ Là ứng dụng bắt đầu hoạt động từ tháng 4 năm 2022, quý vị có thể xem thông tin lãnh nạn v.v. trong trường hợp xảy ra thảm họa năng lượng hạt nhân.



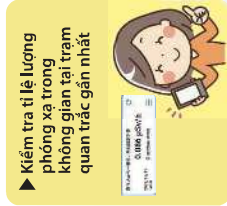
▶ Quý vị có thể sử dụng mã QR, thực hiện các thủ tục tại các nơi lãnh nạn v.v. một cách thuận lợi.



2 Có thể làm gì với "Ứng dụng phòng chống thảm họa năng lượng hạt nhân tỉnh Kagoshima"?



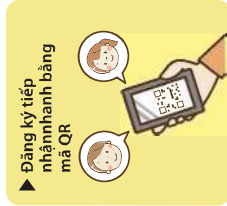
▶ Nhận thông báo về việc lãnh nạn tuchinh quyền địa phương



▶ Kiểm tra tỷ lệ lượng phóng xạ trong không gian tại trạm quan trắc gần nhất



▶ Tìm kiếm các tuyến đường lãnh nạn từ vị trí hiện tại



▶ Đăng ký tiếp nhận nhanh bằng mã QR

3 Hướng tới Huấn luyện phòng chống thảm họa năng lượng hạt nhân...

① Vui lòng cài đặt "Ứng dụng phòng chống thảm họa năng lượng hạt nhân".

- ▶ Vui lòng quét mã QR bên dưới hoặc tìm kiếm "Ứng dụng phòng chống thảm họa năng lượng hạt nhân tỉnh Kagoshima" bằng App Store Đối với những người không có điện thoại thông minh, chúng tôi sẽ phát giấy có mã QR khi tiếp nhận.
- Vào hôm huấn luyện, quý vị có thể sử dụng giấy này để đăng ký tiếp nhận.



Người dùng Android bấm vào đây



Người dùng iPhone bấm vào đây

ベトナム語版



② Vui lòng đăng ký thông tin như họ tên và địa chỉ v.v.

I-13 令和5年度原子力防災訓練実施結果検討会概要

- 1 日 時 令和6年3月19日（火） 午後1時30分～
- 2 場 所 青少年会館大ホール
- 3 参加者 自衛隊，海上保安庁など国の関係機関，関係市町，関係消防機関，県警察，
庁内関係課及び関係地域振興局等の担当者
- 4 関係機関から挙げられた主な課題
 - (1) 本部訓練関係
 - ① 訓練シナリオについて，地震を想定した訓練となっているが，多くの避難経路が通行不能となる等，想定をよりハードにすべきではないか。
 - (2) オフサイトセンター関係
 - ① 1日間での実施となっていることから，事態進展がとても早く，また，会議等が多いため，要員がどのフェーズにどのような防護措置等が行われるのか把握が難しかった。
 - ② 国と県，県内部での情報伝達の際，役割分担が分かりにくい場面があった。
 - ③ N I S Sに次々と情報が入ってきたため，過去の情報を見返すのに時間を要し，見落としが発生してしまった。
 - (3) 避難退域時検査関係
 - ① 汚染の有無に係る報告について，各検査エリアを通過するごとに無線で報告することとなっているが，検査エリアが混雑した場合，どの検査エリアで汚染があったのか状況が分かりにくかった。
 - ② 除染について，住民に対して説明を行ったが伝わりづらかった。
 - (4) 避難所関係
 - ① 避難住民がどこを何時に出発したのか等の情報連絡がなかったため，受入れ態勢を整える際，不安だった。
 - ② 駐車場から避難所までの動線に階段があり，車椅子等の歩行困難な住民への対応を検討する必要性を感じた。
 - (5) 原子力災害時住民避難支援・円滑化システム関係
 - ① 住民の避難所での受付にあたり，原子力防災アプリを活用したが，住民の方々にとって同アプリでの受付が不慣れで，操作方法を説明しながらの受付を行ったため時間を要した。
 - ② 同アプリについて，日頃から使用するものではないため，習熟を図る必要があると感じた。

I-14 オフサイトセンター運営訓練後の振り返り概要

1 各機能班，各チームから出された意見

(1) 活動内容，情報の流れ

- ・ 訓練全体説明資料等により概要を理解できた。
- ・ 訓練開始時，役割分担・要員配置ボードにて活動事項を確認した。
- ・ N I S Sを用いて迅速に情報共有できていた。
- ・ N I S Sの情報を共有し，主要活動ボードに記載するなど，情報共有が図れた。
- ・ 作業の省略事項が多く，実動が少なかった。
- ・ 医療班と医療チームで多少の混乱はあったが，概ね理解できた。
- ・ 実際に活動しなかった役割について，理解を深める必要がある。
- ・ 初めて訓練に参加する方が多く，チームの役割を理解することに時間を要した。

(2) 他班，チームとの連携

- ・ 問合せに対して，迅速に他組織と連携して対応していた。
- ・ 他組織からのミスリードを含む問合せにも適切に対応できた。
- ・ 緊急時モニタリングのデータ入手や傷病者搬送の情報入手時においては，放射線班や医療班等へのクロノロによる情報発信に加え，後追い連絡を行うなど関係箇所と十分な連携がとれた。
- ・ 知りたい情報が何か，正確に問合せる必要性を感じた。
- ・ N I S Sでは意思の疎通がうまく図れない部分があった。
- ・ タイミング・内容・担当部署等の，不明確な状況付与があり，対応に苦慮した。

(3) 機器の取扱い

- ・ システムの習熟が出来た。
- ・ P Cやマニュアルを十分に活用した。
- ・ 他組織の宛先を入力せずに送信してしまった。
- ・ 県現地本部長室に，共有映像を映し出す機器が必要だと感じた。
- ・ マニュアル等資料を事前に読み込めると，より訓練が円滑に行えると感じた。

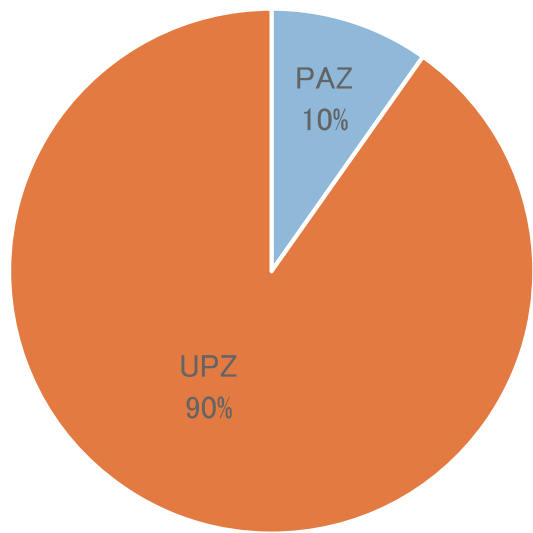
(4) 課題等

- ・ チームリーダーの指示が的確で，判断が適切だった。
- ・ 業務状況に応じて，他者の応援ができた。
- ・ グループ間，ペア間でコミュニケーションが取れていた。
- ・ 防災訓練の開始時間をずらしてほしい。
- ・ 会議の回数を減らして，実際の作業時間を確保してほしい。
- ・ 電子ホワイトボードの台数を増やしてほしい。
- ・ 入館時の受付の混雑を解消してほしい。
- ・ かなり手狭であり，可能であれば，レイアウトの改良をお願いしたい。
- ・ P Cが足りない。紙の情報が多かった。データ化の検討の余地あり。
- ・ 細かいマニュアル（チェックリスト）を作成する必要がある。

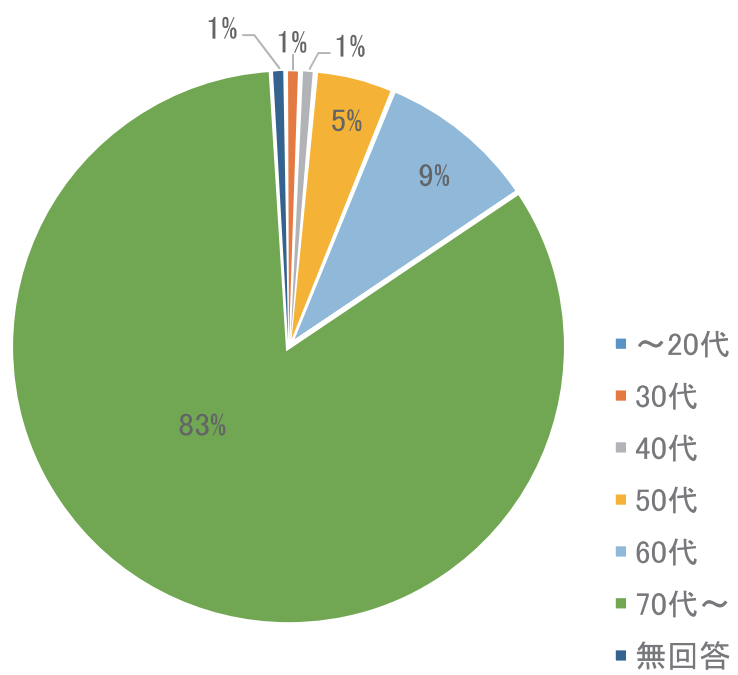
I-15 原子力防災訓練参加住民アンケート結果

○ アンケート回答者数：501人

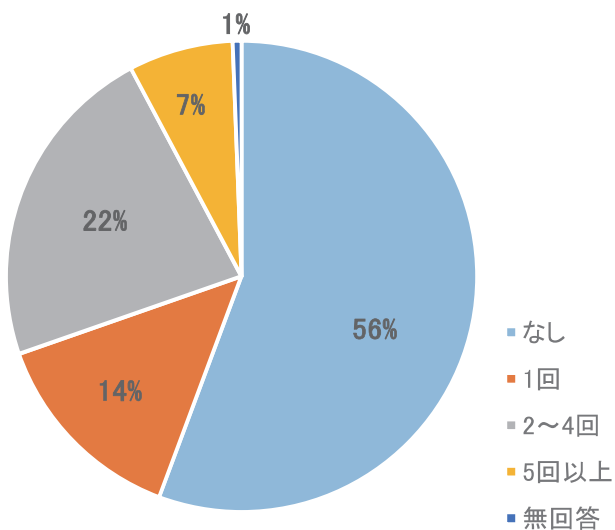
PAZ及びUPZ参加者の割合



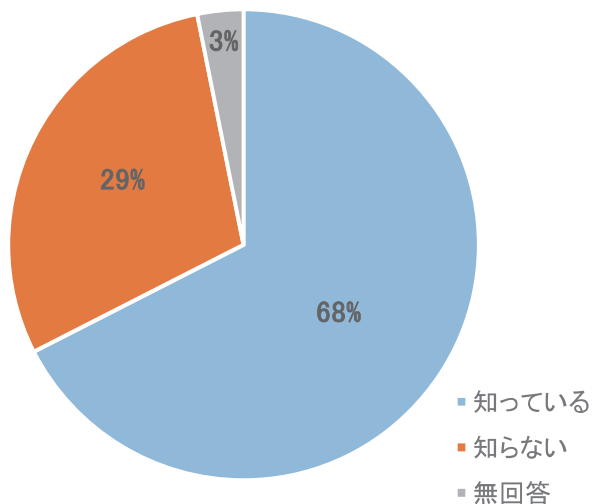
年齢層



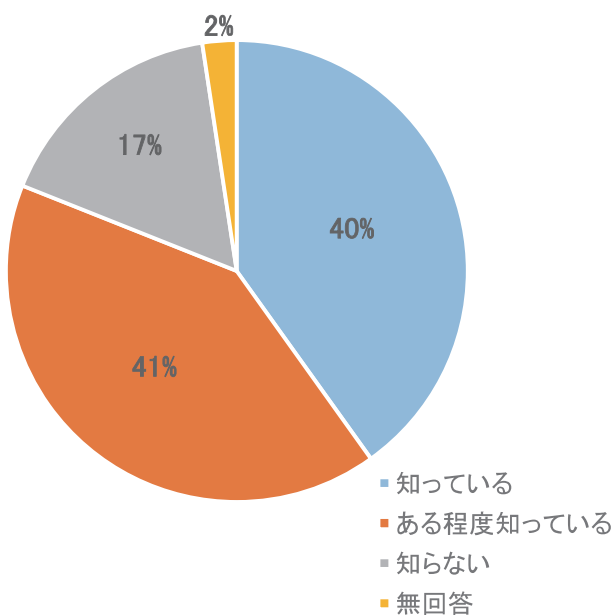
Q1 これまでに原子力防災訓練に参加したことがありますか？



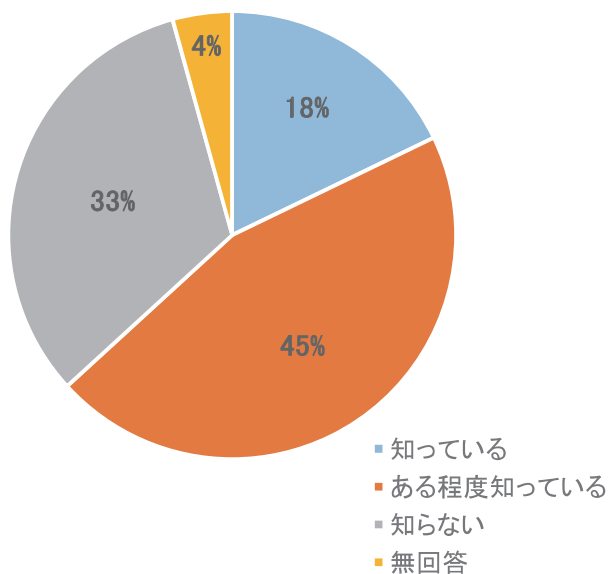
Q2 あなたのお住まいの地域の避難計画を知っていますか？
(※ 鹿児島市除く)



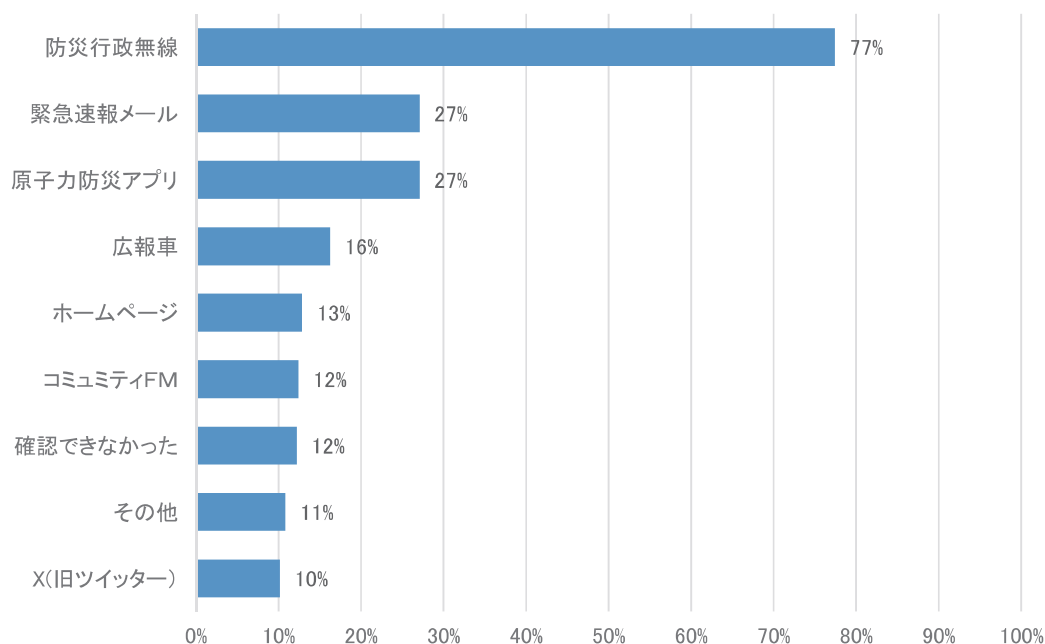
Q3 原子力災害時、あなたの避難方法(避難集合場所・避難先・避難ルートなど)を知っていますか？



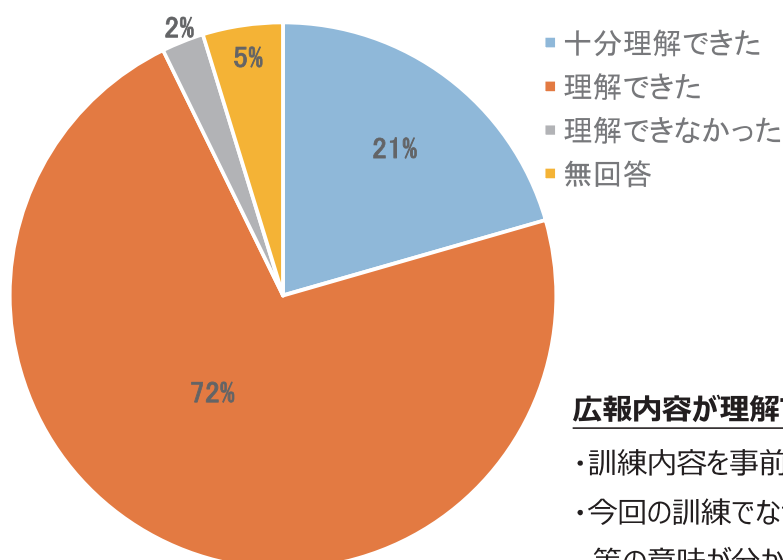
Q4 あなたのお住まいの地域では、いつ、どのような防護措置(屋内退避や避難など)を行うか知っていますか？
(※ 鹿児島市除く)



Q5-1 住民の方々へ避難や屋内退避の指示などを伝える広報訓練を行いました。何によってその指示内容などを確認できましたか？(いくつでも)



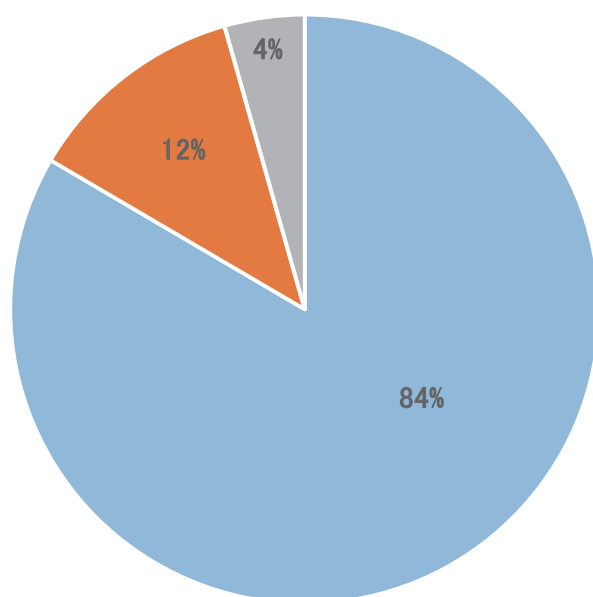
Q5-2 広報の内容(避難や屋内退避の指示など)は、理解できましたか？(※ 鹿児島市除く)



広報内容が理解できなかった理由

- ・訓練内容を事前によく理解していなかった。
- ・今回の訓練でなぜ屋内避難をするのか等の意味が分かっていなかった。
- ・屋外にいたが、放送の内容がほとんど聞き取れなかった。

Q6 原子力防災アプリや紙のQRコードを使用した避難所等の受付はスムーズにできましたか？

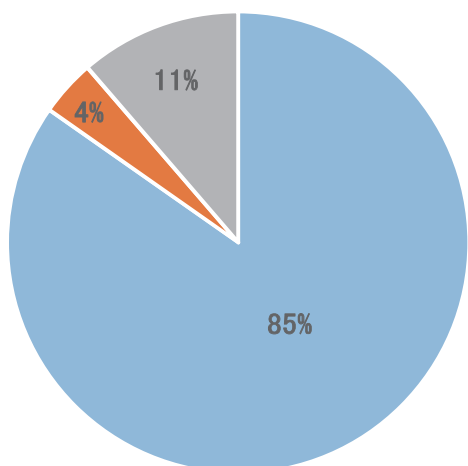


- できた
- できなかった
- 無回答

スムーズにできなかった主な理由

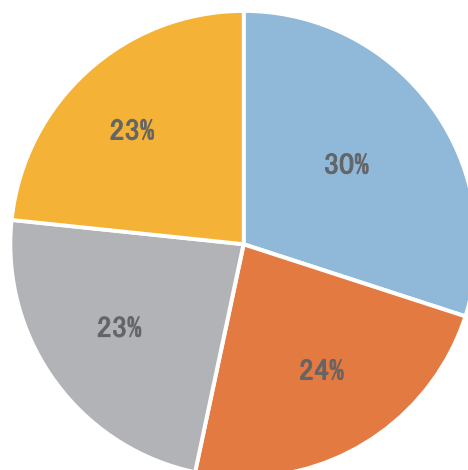
- ・アプリに慣れていないので手間取った。利用方法の研修が必要。
- ・スマホを持っていない。
- ・QRコードの使用が初めてだった。
- ・インストールと情報入力面倒くさい。

Q7 安定ヨウ素剤の緊急配布は適切でしたか？
(※ 鹿児島市除く)



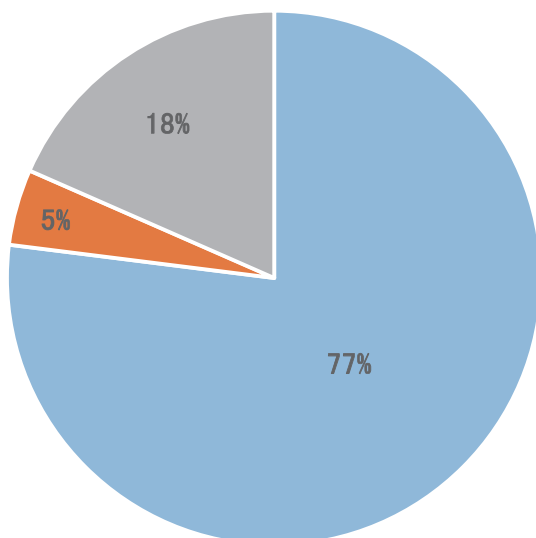
- 適切だった
- 適切ではなかった
- 無回答

Q7-1 不適切とお答えの方は理由をお聞かせください。



- 説明がわかりにくい
- 案内誘導がわかりにくい
- 説明が聞き取りにくい
- その他

Q8 原子力防災アプリや紙のQRコードを使用した安定ヨウ素剤緊急配布はスムーズにできましたか？
 (※ 鹿児島市除く)

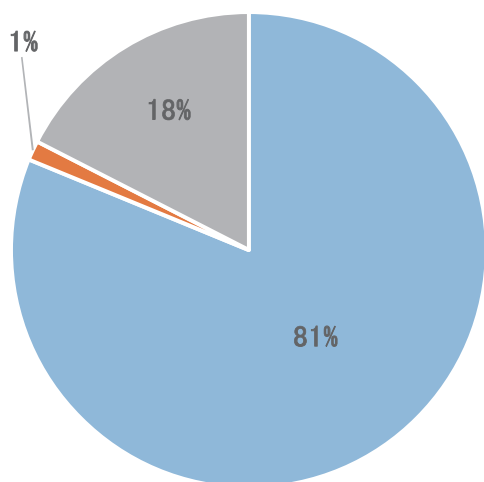


- できた
- できなかった
- 無回答

スムーズにできなかった理由

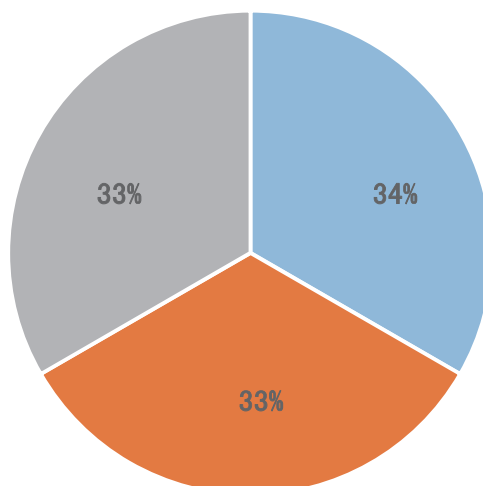
- ・QRコードの読みとりがスムーズでなかった。
- ・スマホ操作が不十分。(難しい, 慣れていない)
- ・スマホを持っていない。
- ・アプリを使えない。

Q9 自宅又は避難所などでの屋内退避はできましたか？
 (※ 鹿児島市除く)



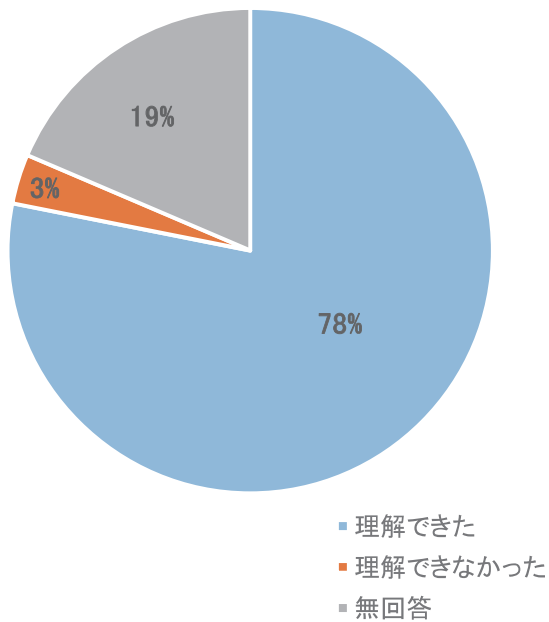
- できた
- できなかった
- 無回答

Q9-1 できなかったとお答えの方は理由をお聞かせください。

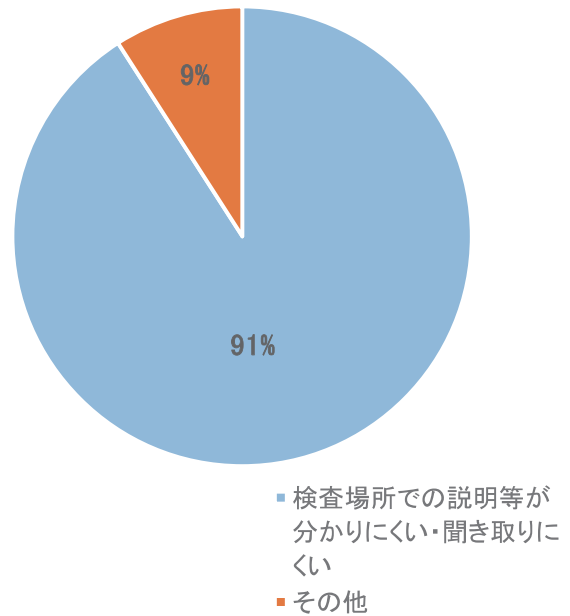


- 屋内退避の開始指示が伝わらなかった
- 屋内退避で窓閉め等の必要性を知らなかった
- その他

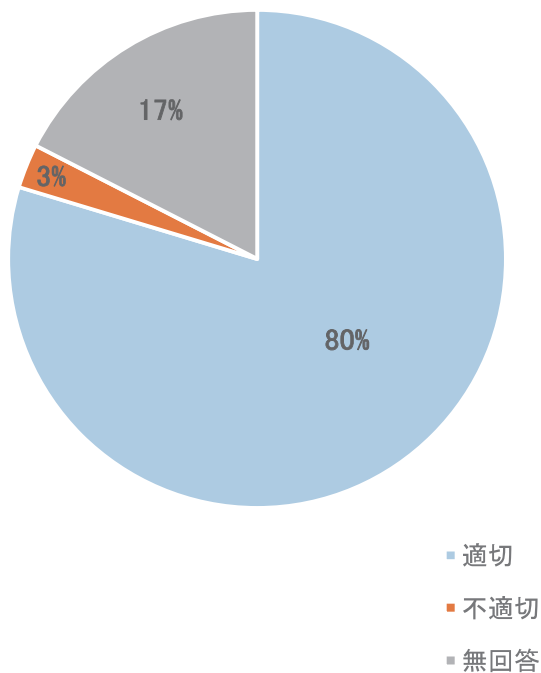
Q10 避難退域時検査場所での検査の流れは理解できましたか？
(※ 鹿児島市除く)



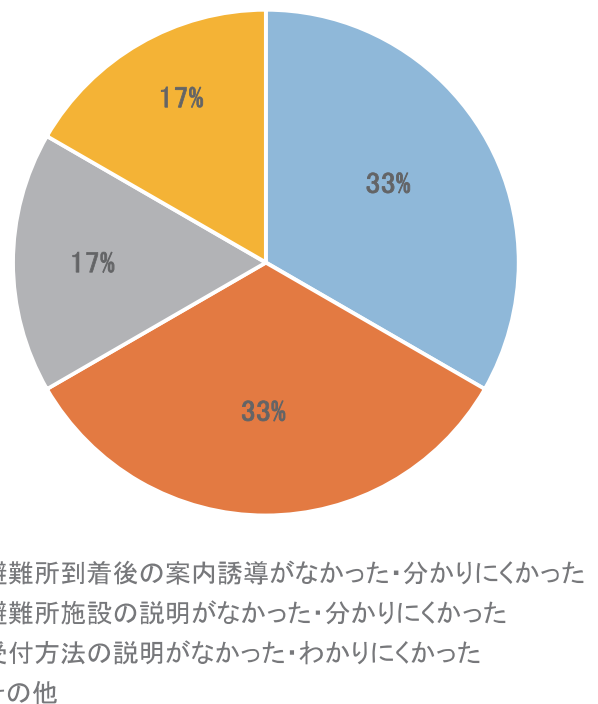
Q10-1 理解できなかったとお答えの方は理由をお聞かせください。



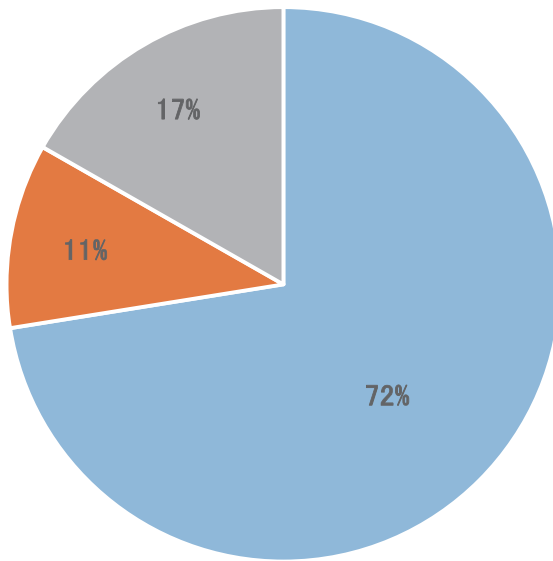
Q11 避難所の受け入れ対応は適切でしたか？
(※ 鹿児島市除く)



Q11-1 不適切とお答えの方は理由をお聞かせください。



Q12 今回の訓練を体験して避難できると感じましたか？

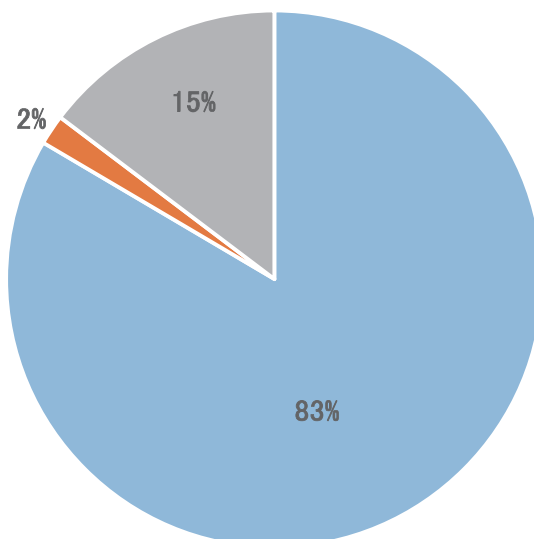


- できる
- できない
- 無回答

できないと回答した主な理由

- ・代表者だけで参加のため、全員避難させることは困難では。
- ・訓練と違って実際の避難はパニックになるのじゃないかと思う。
- ・実際に事故発生時、今回の避難道路を使用出来るか。
- ・車での避難は渋滞して難しいと思う。
- ・現実的な避難経路でない。

Q13 防災講習会は参考になりましたか？



- 参考になった
- 参考にならなかった
- 無回答

参考にならなかった理由

- ・あくまでも講習で、実際の場面の対応を教えてほしかった。

主 な 自 由 意 見

1 訓練想定, 内容など

- ・初めて参加した。ひと通りの流れがわかったので、とても参考になった。
- ・訓練をすることは良いことであるので、今後も何回でも計画してほしい。
- ・講話を聞いて、慌てて避難しなくても良いという事が分かった。
- ・今回は訓練であったが、実際避難人数が多くなると出来るか不安。人数を増やして訓練が必要では。
- ・少人数の参加で健常者のみであり、住民一斉の避難だと混乱すると思う。

2 避難

- ・まず屋内避難をしたあとの意味やその重要性を理解しづらかった。家族で災害等に関する話し合いをしたいと思う。
- ・非常時の避難は日頃の訓練によって活かせると思うので毎年訓練は行うべき。
- ・避難までの流れを1枚に分かりやすくまとめて欲しい。自治会全世帯に配布して徹底させたい。
- ・各自で避難となると準備する物、荷物等、大量になるので自家用車が無難と感じた。
- ・事故になったらパニックになると思った。家族と練習しないといけないと感じた。
- ・高齢者で車の運転が不可能な方は無理があるのではないか。

3 原子力防災アプリ

- ・アプリに慣れていないので手間取っているような気がした。利用方法の研修が必要。
- ・QRコード使用をこれまで行ったことが無いのでよく分からない。

4 安定ヨウ素剤緊急配布

- ・服用の時期などについての説明がなく、配布しただけだった。

5 避難所等

- ・避難場所をもう少し近くにして欲しい。

6 避難退域時検査

- ・車、バスの汚染測定でなぜ天井部分は測定されなかったのか？
- ・汚染者の名前、生年月日を聞かれたが、QRコードでの掲示ではダメなのか。